

京都府立南丹高等学校 テクニカル工学系列

ものづくりを学ぶ



南丹高等学校について

平成27年度に新しくテクニカル工学系列を設置した南丹高校は、総合学科設立以来、より高い目標に向かって新しい段階へ一歩を踏み出しました。幅広い選択科目の中から生徒自ら選び、学ぶという総合学科の特色を生かし、多様な能力・適性に対応し、より高い目標を目指し、生徒の力を伸ばす教育活動を推進します。

系列

テクニカル工学系列
人間科学系列
スポーツ健康系列
ビジネス情報系列
総合知的探究系列



総合学科



テクニカル工学系列の取組

【企業実習】

実践的に知識、技術を学ぶためテクニカル工学系列のパートナー企業に「企業実習」をお世話になっています。機械系、電気系、組み立て、安全教育等、普段の授業だけでは学ぶことができない貴重な実習となり、今後に生かされると思います。

また、大事な時間を丁寧に御指導いただいたことに心から感謝申し上げます。学んだことを生かし、社会に貢献できるようにこれからも頑張っていくことを強く思いました。

実施形式

A班 9月15日、29日、10月6日、20日 計4回
B班 10月27日、11月10日、17日、24日 計4回 各3時間程度
1社当たり1～2人



学んだこと

ものづくり(製造業)での働く様子を感じられた。

学校では、学習できないことを学ぶことができた。

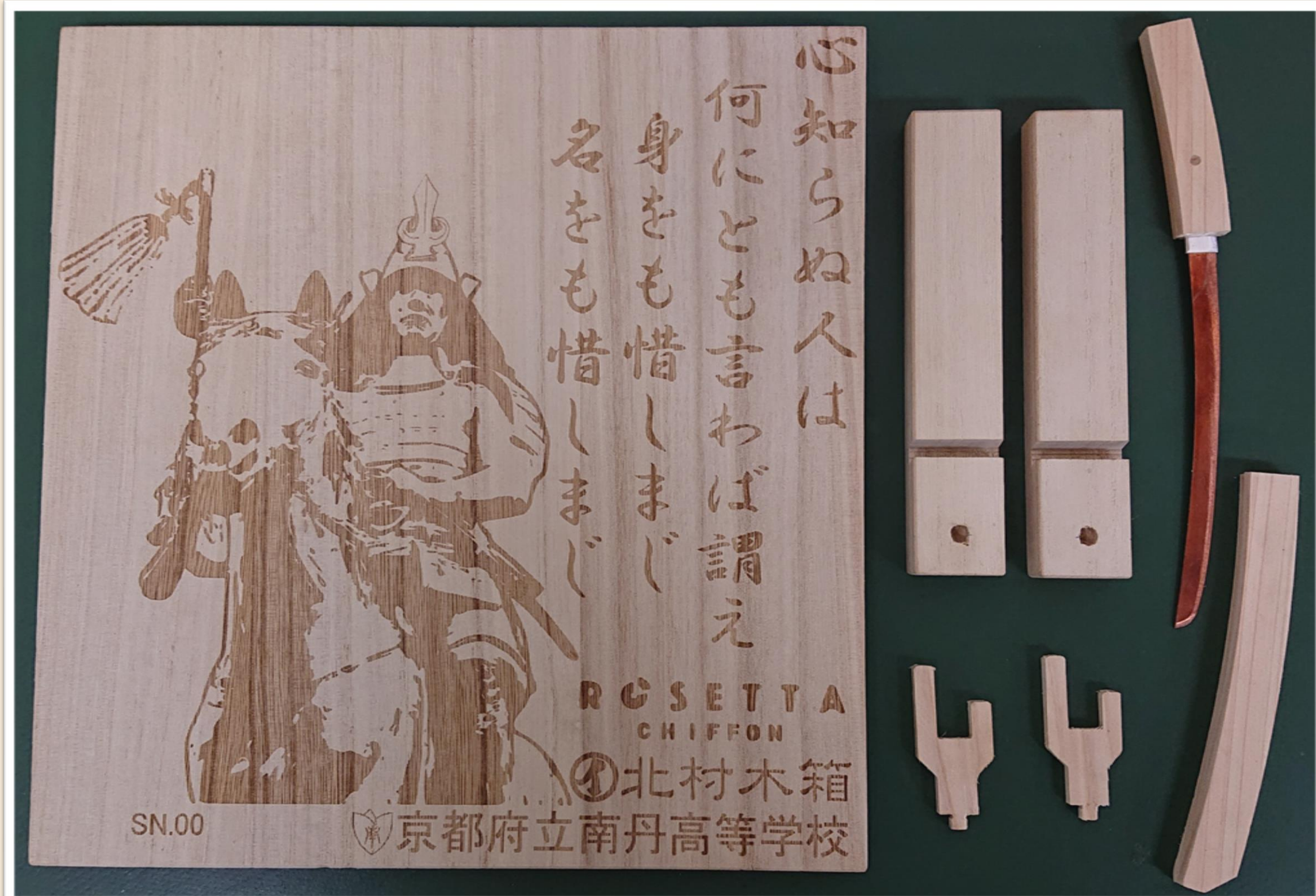
働く厳しさを感じた。



【工学クラブの取組】

地域連携商品開発

地元飲食店と協力して、商品開発をしています。今年度は、贈答用の桐箱にデザインを行い、開封後に捨てられるフタの部分、楯飾りとして部屋に置けるようにしました。また、楯と一緒に飾れるような刀型のペーパーナイフを設計しています。



楯飾りのすべての部品



表側



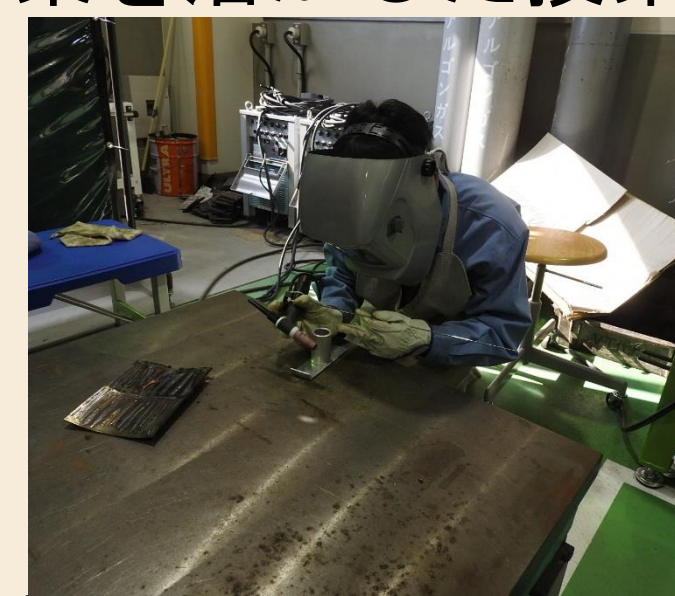
裏側

【工業の授業】

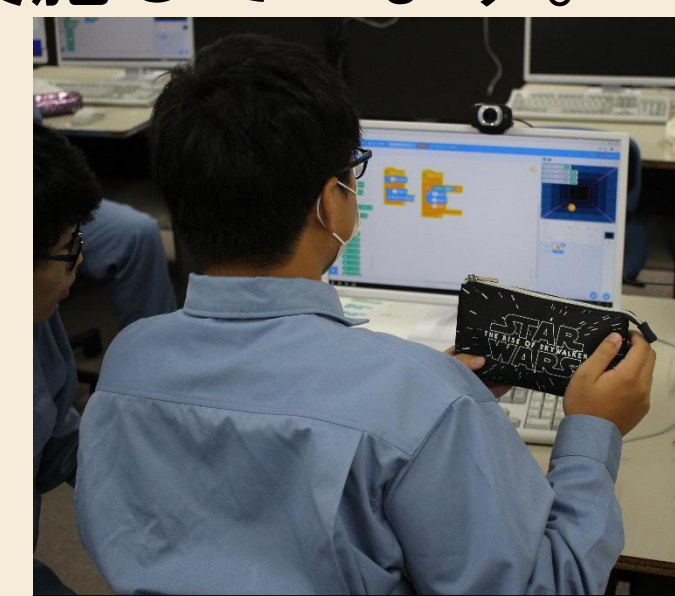
総合学科の中で、工業を活かした授業を実施しています。



旋盤



Tig溶接



AI画像認識

生徒の感想

ものづくりへの関心

工業の知識、技術を高めれば、いろいろな物が作れることに気づきました。工業の魅力を感じました。

人の役に立つものづくり

作った物で人を喜ばせることができました。人の役に立つことで、ものづくりのおもしろさを感じました。

伝えたい、ものづくりの醍醐味。感じたい、ものづくりの楽しさ。

自分たちが感じたものづくりの醍醐味を小学生や中学生、地域の方にぜひ、知っていただきたいです。
そして、これからも、ものづくりの楽しさを感じ取っていききたいです。